

平成27年度基準薬局中央研修会（H27.6.21）

認知症サポート薬剤師 e-ラーニング講座について

公益社団法人 東京都薬剤師会

生涯学習委員会

担当理事 石川 さと子



都薬 生涯学習委員会

- 社会のニーズに合わせて薬剤師の職能を広げる学習の場を提供しています

都薬ホームページから
e-ラーニング講座を提供

都薬 生涯学習委員会

- 社会のニーズに合わせて薬剤師の職能を広げる学習の場を提供しています

都薬ホームページから
e-ラーニング講座を提供

- すでに、禁煙支援活動について学ぶe-ラーニング講座を開設しています

<http://www.toyaku.or.jp/improvement/progress/nosmoking.html>

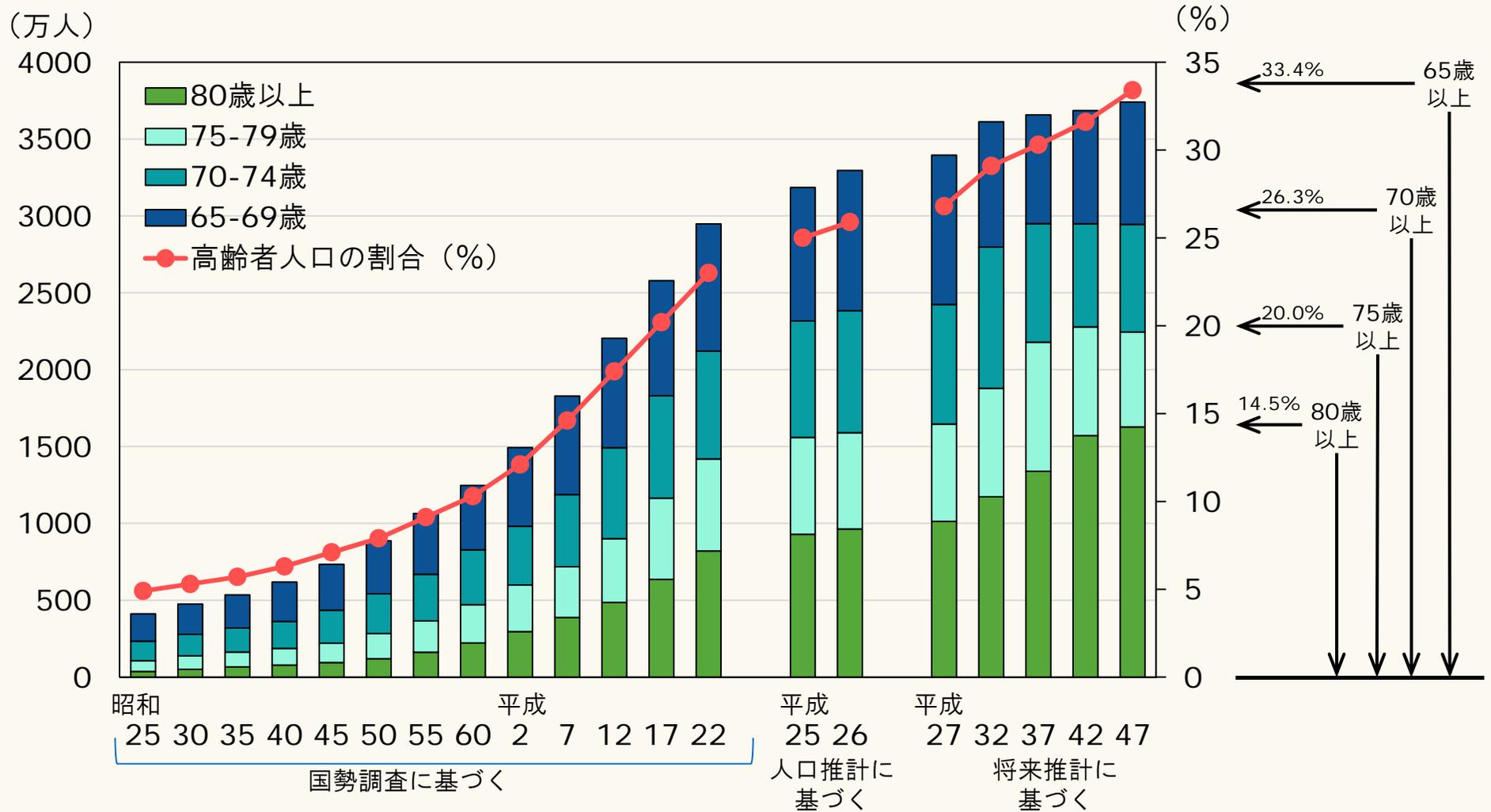


認知症サポート薬剤師e-ラーニング講座

一般目標：くすりの専門家として認知症患者の質の高い薬物療法に貢献するのみならず、街の健康相談窓口として、認知症の早期発見や家族の相談にも応じ、適切な対応をとることができる。

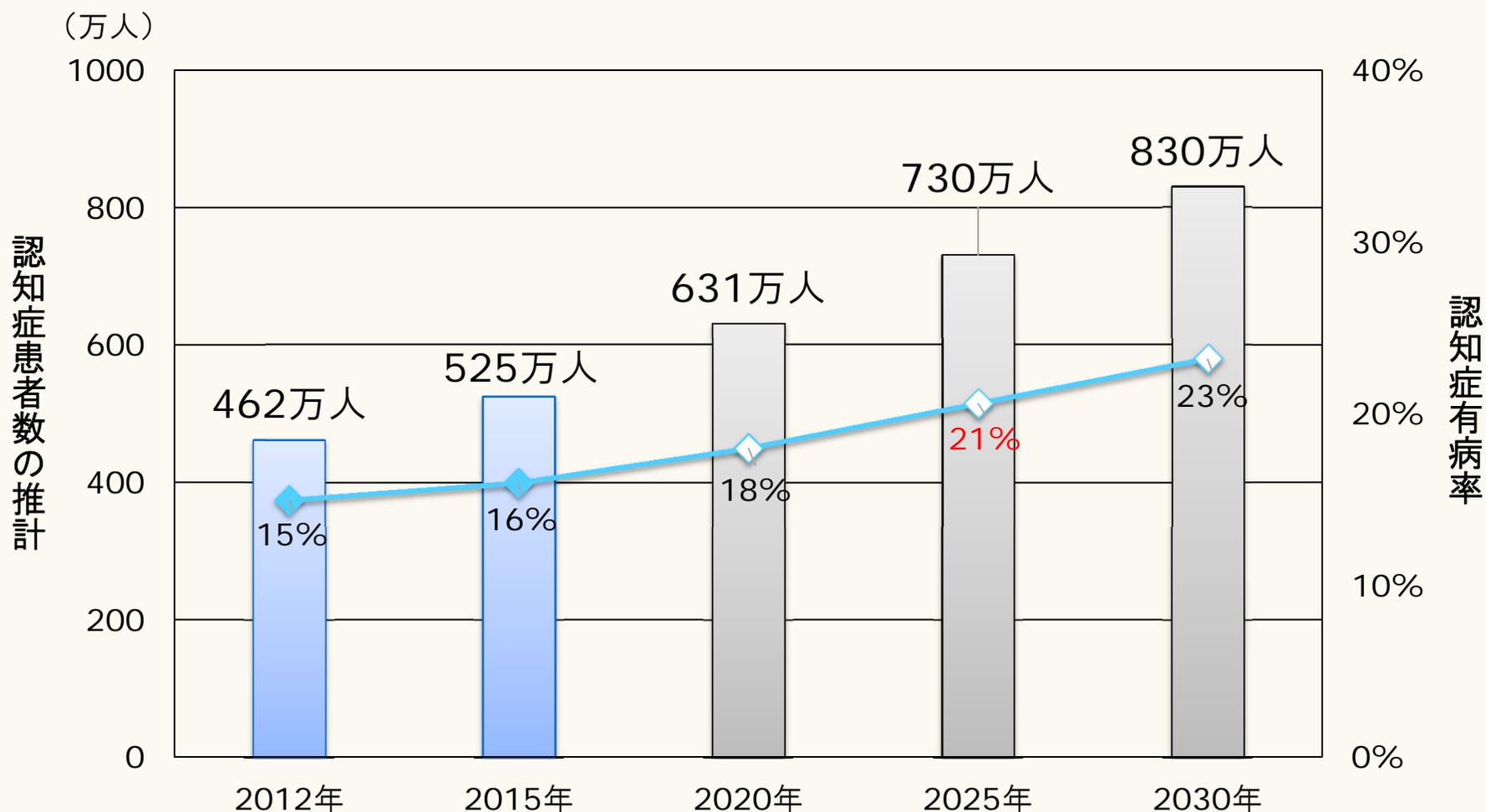
第1講座 はじめに 1-1. 認知症の現状 1-2. 軽度認知障害の概念と症状 1-3. 行政の取組、国の施策 1-4. 薬剤師に求められる役割	第4講座 認知症に関連する薬剤管理指導 4-1. 認知症治療薬の歴史 4-2. 中核症状の薬 4-3. 行動・心理症状(BPSD)に対応する薬 4-4. 患者の症状に合わせた服薬支援
第2講座 認知症への基本的な理解 2-1. 認知症の定義 2-2. 健康なもの忘れと病気によるもの忘れ 2-3. 中核症状と行動・心理症状 (BPSD) 2-4. 認知症の診断について 2-5. 認知症の症状を呈する主要な疾患	第5講座 本人の思い、家族の思いへの理解 5-1. 「個人の尊厳」を考える 5-2. 認知症の経過と本人の思い 5-3. 本人の体験からその思いを理解する 5-4. 家族介護者の心理的ステップ 5-5. 家族の体験からその思いを理解する
第3講座 認知症の臨床 3-1. 早期対応の意義 3-2. 薬物療法の実際 3-3. 薬剤師への期待	第6講座 認知症の人との接し方 6-1. 行動・心理症状 (BPSD) 発症の要因 6-2. ケアで変わるBPSD 6-3. ケアの原則
講師：生涯学習委員会委員 (第1,2,4-7講座) 東京都健康長寿医療センター 金田大太先生 (第3講座)	第7講座 薬局薬剤師が知っておくべき地域資源 7-1. 地域包括支援センターの役割 7-2. 活用できる公的資源・地域資源 7-3. 連携の進め方

高齢者の人口及び割合の推移



総務省：統計トピックスNo.84 統計から見た我が国の高齢者（65歳以上）
（平成26年9月15日）<http://www.stat.go.jp/data/topics/topi841.htm>

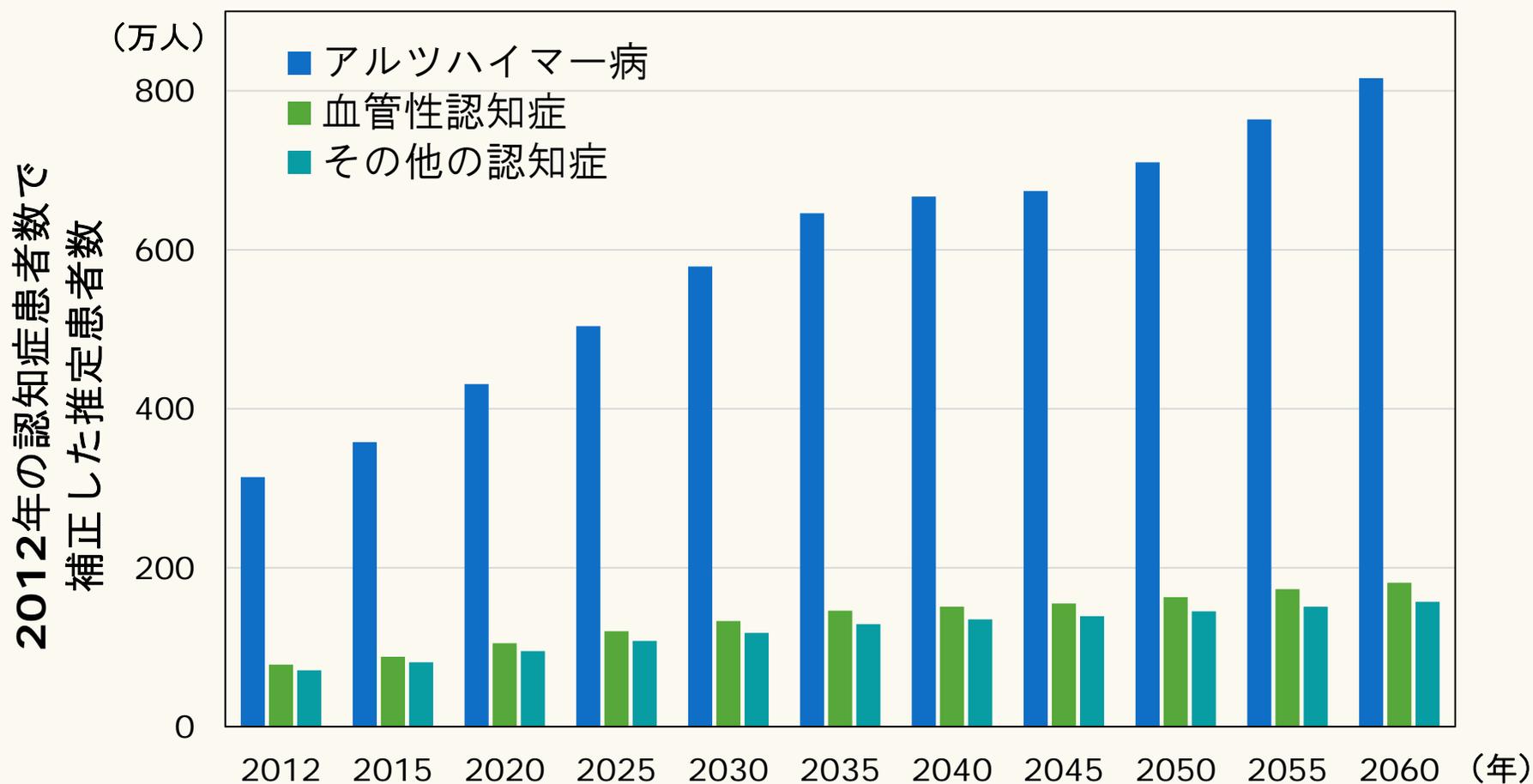
認知症患者数の将来推計



平成26年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業 「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」 (研究代表者：九州大学 二宮利治)

認知症患者数の将来推計（病型別）

各年齢層の認知症有病率が2012年以降も上昇すると仮定した場合



平成26年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業 「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」報告書（研究代表者：九州大学 二宮利治）

<http://mhlw-grants.niph.go.jp/niph/search/NIDD00.do?resrchNum=201405037A>

認知症施策推進総合戦略 (新オレンジプラン)

- 厚生労働省が関係府省庁と共同して策定
- 認知症の人を「支えられる人」と考えるのではなく、認知症の人が「認知症と共に」暮らすための環境整備

認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指す。

厚生労働省 老健局 報道発表資料（平成27年1月27日）

<http://www.mhlw.go.jp/file/04-Houdouhappyou-12304500->

[Roukenkyoku-Ninchishougyakutaiboushitaishakusuishinshitsu/01_1.pdf](http://www.mhlw.go.jp/file/04-Houdouhappyou-12304500-Roukenkyoku-Ninchishougyakutaiboushitaishakusuishinshitsu/01_1.pdf)

新オレンジプラン 7つの柱

認知症サポーターキャラバン

- ① 認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進
- ② 認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供
- ③ 若年性認知症施策の強化
- ④ 認知症の人の介護者への支援
- ⑤ 認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりの推進
- ⑥ 認知症の予防法、診断法、治療法、リハビリテーションモデル、介護モデル等の研究開発及びその成果の普及の推進
- ⑦ 認知症の人やその家族の視点の重視

薬剤師の認知症
対応力向上

認知症患者・家族の語り



認知症サポーターキャラバン

- 厚生労働省が2005年から始めた事業
- 目的は、地域で認知症の人を支え「認知症になっても安心して暮らせるまち」の実現
- **認知症サポーター**：
認知症の正しい知識と理解をもち、自分の
できる範囲で手助けをする人
 - キャラバンメイトによる養成講座は地域や職域で
開催
 - 講座修了後、サポーターの目印となる
ブレスレットタイプの
「オレンジリング」が授与される



認知症サポート薬剤師 e-ラーニング講座

1. はじめに
2. 認知症への基本的な理解
3. 認知症の臨床
4. 認知症に関連する薬剤管理指導
5. 本人の思い、家族の思いへの理解
6. 認知症の人との接し方
7. 薬局薬剤師が知っておくべき地域資源

語り提供 : <http://www.dipex-j.org/dementia/>



認定NPO法人 健康と病いの語り ディペックス・ジャパン
— 認知症本人と家族介護者の語り —

認知症サポート薬剤師e-ラーニング講座

監修：東京都健康長寿医療センター 金田大太 先生

第1講座 はじめに 1-1. 認知症の現状 1-2. 軽度認知障害の概念と症状 1-3. 行政の取組、国の施策 1-4. 薬剤師に求められる役割	第4講座 認知症に関連する薬剤管理指導 4-1. 認知症治療薬の歴史 4-2. 中核症状の薬 4-3. 行動・心理症状(BPSD)に対応する薬 4-4. 患者の症状に合わせた服薬支援
第2講座 認知症への基本的な理解 2-1. 認知症の定義 2-2. 健康なもの忘れと病気によるもの忘れ 2-3. 中核症状と行動・心理症状 (BPSD) 2-4. 認知症の診断について 2-5. 認知症の症状を呈する主要な疾患	第5講座 本人の思い、家族の思いへの理解 5-1. 「個人の尊厳」を考える 5-2. 認知症の経過と本人の思い 5-3. 本人の体験からその思いを理解する 5-4. 家族介護者の心理的ステップ 5-5. 家族の体験からその思いを理解する
第3講座 認知症の臨床 3-1. 早期対応の意義 3-2. 薬物療法の実際 3-3. 薬剤師への期待	第6講座 認知症の人との接し方 6-1. 行動・心理症状 (BPSD) 発症の要因 6-2. ケアで変わるBPSD 6-3. ケアの原則
講師：生涯学習委員会委員 (第1,2,4-7講座) 東京都健康長寿医療センター 金田大太先生 (第3講座)	第7講座 薬局薬剤師が知っておくべき地域資源 7-1. 地域包括支援センターの役割 7-2. 活用できる公的資源・地域資源 7-3. 連携の進め方



認定NPO法人 健康と病いの語り ディペックス・ジャパン
— 認知症本人と家族介護者の語り —

スクーリングを開催します

- 平成28年1月（予定）
- 金田医師、DIPEX-Japan理事の後藤恵子氏が講師として参加します。
- キャラバンメイトによる講演も企画し、認知症サポーター養成講座を兼ねる予定です。
（修了後オレンジリングを授与します）
- e-ラーニング受講者同士の情報交換、質疑応答などを通して、認知症についての学びをさらに深めましょう。

薬剤師の認知症対応力向上を目指して！

どなたでも受講できる
e-ラーニング講座で
お会いしましょう！

